

環境クリーン部長目標（令和7年度組織目標）

● 環境クリーン部長 畑中 武（はたなか たけし）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 12つくる責任 つかう責任
- 13気候変動に具体的な対策を
- 15陸の豊かさを守ろう



● 環境クリーン部の仕事

環境クリーン部は、マチごとエコタウン推進課（ゼロカーボンシティ推進室）、環境対策課、生活環境課、みどり自然課、資源循環推進課（一般廃棄物最終処分場整備室）、東西クリーンセンター及び収集管理事務所の8課2室で構成され、地球温暖化対策、公害対策等の環境施策、生活環境の向上対策、みどりの保全・創出と廃棄物処理施策の推進を主な仕事としています。

● 環境クリーン部の目標

「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に掲げる将来像「“人と人”人と自然”との絆で、子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢」の実現を目指して分野横断で取り組み、2050年までに市域の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します。

分野別の取組みには各主体の関りが不可欠なため、協働・実践・学習を横断的な施策として、みんなで実践する環境づくりに取り組みます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	公共施設太陽光発電設備設置事業	再生可能エネルギーの創出、電力使用に伴う二酸化炭素排出量の削減及び公共施設のレジリエンス強化を目的に、複数の公共施設に対して太陽光発電設備と蓄電池を設置します。	民間の資金やノウハウを有効活用し、初期費用を抑え事業費の平準化を図るため、設計・施工・維持管理を含めた包括リース方式を採用し、早期実現を図ります。	
2	スマートハウス化推進補助事業	再生可能エネルギーの導入や住宅の環境性能向上などの省エネ対策を行う際の経費の一部を補助します。	・補助制度の周知に努め、民生家庭・業務部門における更なる温室効果ガスの排出量削減を図ります。 ・家庭や事業所等に再生可能エネルギーの導入を推進します。 ・住宅のエコハウス化、エコリフォームの推進や蓄電池の導入、次世代自動車への転換等を推進します。	
3	緑地管理整備推進事業	エコロジカルネットワークの形成と所沢のみどりを次世代に継承するため、地域制緑地の指定や買い入れ・寄附によって取得した貴重な緑地について、その自然環境や植生・景観を適切に維持管理します。	・市民等との協働により、生物多様性にも配慮したみどりの保全を図ります。 ・市民が安全にみどりと触れ合う場を提供するため、公開している緑地の園内柵や外周柵の修繕等を行います。 ・特別緑地保全地区等の地域制緑地内の土地の取得（公有地化）を図ります。	
4	一般廃棄物減量化方策推進事業	ごみの発生及び排出を抑制するため、ごみ減量・資源化の取組みを進めます。	・廃棄物減量等推進審議会からの答申（令和7年3月）を受けて、新たなごみの減量及び資源化方策の確立・検討に取り組みます。 ・家庭から排出される生ごみの減量を推進するため、生ごみ処理機の導入を推進します。 ・出前講座やSNSの活用などにより、3Rや正しい分別の啓発を推進し、ごみの発生及び排出抑制を図ります。	